

～ とうほくち ほうたいへいようおきじしん ご たいおう  
～ 東北地方太平洋沖地震後の対応 ～

りじちよう おくやま はづき  
理事長 奥山 葉月

3月11日東北地方太平洋沖地震によって多くの尊い命、大切な家族、家屋、財産、思い出の品などを失われた方々に心よりお悔やみ申し上げます。また、今もなお、行方のわからない方、避難所での生活、ライフラインが復旧しないままの生活、原発に脅かされた生活を送っていらっしゃる方々も一日でも早く安心した生活に戻れるよう心よりお祈りしております。微力ながらも団体として、被災された障害のある仲間に支援、協力を行なってまいりたいと思っています。

地震の当日、立川でも震度4という、これまでにない大きく、長い時間の揺れがありました。幸いにも事務所に職員が多くいる状況で、プログラムに参加していた利用者やうちあわせを行っていた多機関の方も安全に誘導し、無事、ご帰宅いただくことができました。職員、来所していた方の安全確保を済ませたあと、一人暮らしの利用者、他の支援機関をご利用ではなく当団体のみ利用されている方を中心に各部門で電話やメール、訪問などで安否確認を行ない、全員の無事を確認することができた時は本当にホッと致しました。

その後の余震や計画停電もあり、3月中は全部門で予定していたプログラムやセミナーを中止とさせていただきます。利用者が利用している他機関の実施状況を把握、利用者の勤務先との調整、計画停電についての情報提供や対応策の支援、余震や計画停電、買占めなどに巻き込まれ不安になっている方へのフォロー、日々の生活が維持できるよう食べ物や生活用品の確認など、個別支援に業務を集中させていただきます。4月より通常業務に戻し、事業を行っております。

これまでも団体独自の防災の取り組みや地域の防災活動への参加を行ってまいりましたが、今回の震災で当団体としても防災対策に課題が多く見つかりました。今後はさらに、速やかに対応できるよう、防災に努めてまいりたいと思います。

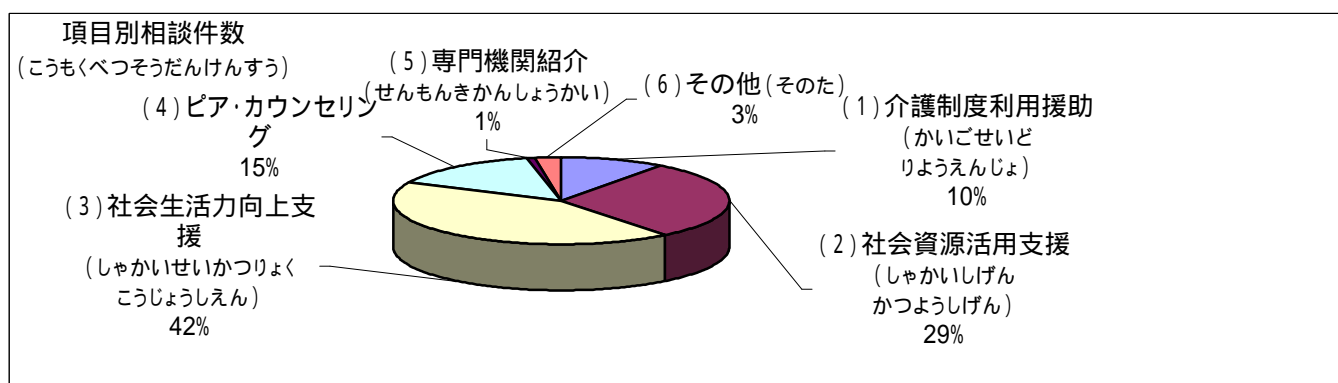


# 〔1〕相談業務件数（単位：件）

(1) 介護制度利用援助	155	(4) ピア・カウンセリング	232	計：1563
(2) 社会資源活用支援	461	(5) 専門機関紹介	10	
(3) 社会性活力向上支援	664	(6) その他	41	

2009年度と比較すると「社会性活力向上支援」の相談件数が大幅に増加しました。特に健康管理や金銭管理、人間関係、趣味・余暇活動に関わる内容や、知的障害のある方からの相談が増える傾向がありました。

また、「介護制度利用援助」においては、入院中の介護利用に関わる相談が多く寄せられ、ご本人の意向をお聞きし、病院・障害福祉課・ヘルパー派遣事業所等と調整を行ないながらサポートを進めました。



## 〔2〕その他業務、関係機関との会議等

- ・立川市障害者週間イベント 11月22日～28日
- ・自立支援協議会 全体会：6月3日、10月21日  
生活専門部会：5月24日、2月24日  
重度訪問介護従事者研修会：11月24日～26日
- ・人権学習事業実行委員会 5月20日、7月6日、8月11日、11月17日、1月19日、3月8日
- ・障害福祉サービス提供事業所連絡会 1月21日

## 〔3〕東北地方太平洋沖地震の影響について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震において、福祉ホットラインでは利用者の方の安否確認を行ないました。その後、障害福祉課と連携を図りながら、市内の社会福祉関係機関に連絡を取り、被害の有無や開所状況などの聞き取りをして、行政に報告を行ないました。

3月14日から開始された計画停電では、利用者の方に情報提供を行ったり、ヘルパー派遣事業所と調整して介助の時間帯や内容を変更するサポート等に取り組みました。平常通りに公共交通機関が利用できない、エレベーターや多くの福祉機器が使えないなど、不安を抱える利用者さんも多くいらっしゃり、気持ちや様子をお聞きしながら、少しでも安心できるような声かけや必要なサポートを行ないました。

今後も相談支援事業所として、できる限りの支援に取り組んで参りたいと思います。

ちいきせいかつしえん  
地域生活支援センター・パティオ

ねんど じぎょうほうこく  
2010年度 事業報告

パティオはこれまでと同様に、精神障害者地域活動支援センター型として、障害者相談支援事業地域活動支援センター型を行なって参りました。障害者相談支援事業では、日常生活に関する総合的な相談や助言、利用者が必要とする情報提供や障害者福祉サービス利用のための支援、専門機関の紹介等を行ないました。地域活動支援センター型では、地域生活の維持、当事者エンパワーメントの支援を目的としたプログラム、他機関へのご紹介やご本人が課題を整理することを目的とした「アセスメント」機能を重視したプログラム活動を行いました。

2010年度の相談およびプログラムの利用人数は、右の表通りとなっております。相談支援ですが例年と比較すると、新規登録の方が若干少なく、登録終了となった方が増えています。終了の理由は、市外への転出、他の通所施設に安定して通っている、就労や日中活動が中心となり相談やプログラムなどの利用がないなど、パティオとの関わり

や必要性の変化によるものです。新規利用では、紹介経路は病院が多く、社会活動の第一歩として、地域生活支援センターを訪ねていらしています。相談内容としては、学校卒業後の行き先で困っていた方、長い間引きこもっていた方、家族関係と学校生活で困っている方など、障害だけではなく多くの問題を抱えて相談を利用されています。

継続的な利用をされている方は、代謝・循環器系など内科の病気で体調を崩される方がいらっしやいました。不規則で偏った食生活、肥満など

いくつかの原因が重なり身体を壊されていました。健康管理というのは、体質的な要因も大きいですが、睡眠・食事・運動など生活習慣が大切になってきます。昨年度は健康推進課より講師をお招きし、プログラムのなかで健康講座を行ないましたが、今後も睡眠や食生活など生活に役立つプログラムを行なってゆきたいと思います。

しんさい えいきょう  
震災の影響について

3月11日の東北地方太平洋沖地震発生時、プログラムを行っており、発生後、利用者・スタッフともに屋外へ避難し、安全確保を致しました。震災の大きさを受け、当日は安否確認連絡と訪問を行ない、利用者の方の状況把握に努めました。直後は、公共交通機関の麻痺により、市外の病院への通院ができず、薬の確保のため通院先の病院と調整が必要となるなど、深刻な影響も出ていました。また、一時的ではありましたが、買占めも起こりトイレトーパーや生理用品が購入できない方もおり、個別の対応も致しました。計画停電の実施に伴い、3月いっぱいプログラムを中止させて頂きましたが、その間、開所時間・電話相談・面談・訪問については変更なく、余震や計画停電で不安な中なるべく落ち着いた生活ができるよう情報発信を行っていました。今回の震災を教訓に、パティオでも災害対策について検討し

2010年度 パティオ利用登録者総数：90名			
登録形態		型48名	相談42名
うちわけ 内訳	新規登録	6名	1名
	登録終了	6名	5名
2011年3月現在		42名	37名

プログラム	実施回数	延べ人数
レディースデー	21回	111人
出るday	22回	86人
フリータイム	253回	793人
夕食サービス	25回	173人
お茶の子ハイサイ	13回	49人
ILP(自立生活プログラム)	18回	143人
マナブとケイコ	21回	86人

てゆく予定です。

就労部門 《立川市障害者就労支援事業》

2010年度 事業報告

(久木野 明白香)

[1] 登録者の状況 (表参照)

新規登録者は17名(知的障害者12名、精神障害者4名、身体障害者1名)でした。知的の方は、特別支援学校の新卒者の登録が6名、失職者が4名、在職者が3名でした。精神の方については、発達障害の方や福祉施設から紹介された方などが登録されました。身体の方は在職中の方でした。

新規就職は20件(知的障害者16件、精神障害者4件)で、就職先としては、特例子会社や飲食店、小売店、事務職がありました。製造業は厳しい状況でした。

離職は8件で全て知的障害の方でした。うち、自己都合5件、会社都合2件、定年1件でした。8名のうち、5名は3月末時点で再就職しています。定年退職された方は、元気に福祉施設に通所しています。2名の方が、現在も就職活動中です。自己都合といっても、原因は不況の影響で職場環境が変化した部分が大きいのと思われます。登録終了者は5名です。終了理由は他市転居や福祉就労への方針転換などです。震災の影響としては、離職や業務内容の変化、業務負担の増加、再就職までの期間の長期化等が見られます。

登録者状況 (2011年3月31日)			
人数	100人		
性別	男性 74人	女性 26人	
年齢	10代 5人		
	20代 42人	30代 27人	
	40代 20人	50代以上 6人	
障害	知的障害 76人	精神障害 20人	
	身体障害 4人		
状況	いっぽんしゅうちゅう 一般就労中 89人		
	しゅうしゅうじゅんびどう 就職準備等 11人(福祉施設通所含む)		

[2] 地域就労支援ネットワークについて

- ネットワーク会議等への参加・協力

これまで同様に、多摩地域就労支援事業実施団体連絡会(任意連絡会)、多摩ブロック会(自治体主催の会)に参加してました。また、立川市自立支援協議会では、当就労支援事業として、就労専門部会の部会長を担い、協力しています。知的障害者通所施設への学習会の主旨で、3回のセミナーを実施しました。工賃の考え方や個別支援の事例報告などを通して、意見交換を行ないつつ、連携構築の機会としました。

- 特別支援学校

22年度は6名の新卒者(武蔵台4名、羽村2名)が利用登録しました。就職先は、飲食店・小売店・特例子会社などでした。生活課題を抱える方の支援に苦慮しています。また学校の進路担当教員の異動も激しく、連携に難しさを抱えています。

[3] 利用者交流プログラム

- 夕食会

木曜日の夜、知的障害の方を対象に、夕食会を実施しています。震災の影響で一時中断しましたが、現在は再開しています。年43回実施、毎回23名程度が参加し、年間のべ965名が参加しました。

- お楽しみ会

知的障害の方の親睦会を2回実施し、参加者はのべ70名程度でした。就職祝いや近況報告、生活講座等を行なっています。震災の影響で、3月の会が中止となりました。

・ 茶話会

精神障害の方を対象に、就労意欲の維持向上や仲間作りを目的としたグループミーティングを実施しています。2回実施し、参加者は平均10名弱です。近況報告の他に、「持続可能な働き方」や「フルタイムに向けた調整」といったテーマで、意見交換を行ないました。

[4] 訓練等プログラム

短期就労準備訓練・体験プログラム

1日3時間、1～2週間、高齢者施設で清掃業務を行ないます。13名が参加し、利用登録初期のアセスメントに活用しました。

就労準備訓練プログラム<1>

年1回、12月に2週間、10時～16時で電話帳袋詰め作業を、チームで行ないます。今回は訓練生8名、支援者2名で実施しました。また、B型の知的・精神の福祉施設、2ヶ所から1名ずつ体験枠として訓練生を受け入れました。

就労準備訓練プログラム<2>

障害者就労支援庁内職場実習事業(市単独事業)として実施しています。新庁舎への移転後、6月より開始しました。年間8回(連続4日間/回)、のべ31日実施し、14名(知的障害者12名、精神障害者2名)が参加しました。庁内リサイクルボックスの紙回収・廃棄を主な作業とし、10時～16時で実習を行ないました。現時点で、8名が就職しています。(井上 貴央)



市役所実習開始!

[5] 震災の影響について ～東北地方太平洋沖地震を経験して、たくましく!～

地震直後から、当センターでは、職場やご本人、ご家族に連絡し、安否確認、帰宅確認を行ないました。携帯電話やメールだけでなく固定電話もつながりにくなり、特に帰宅困難な方の無事を確認するのに深夜までかかりました。

立川近隣の職場の場合、なんとか徒歩で帰宅した方が多かったですが、都心など少し遠い場合は、職場の方のご自宅や職場に泊めて頂いた方もいました。また、職場の車で自宅まで送迎して頂いた方もいました。なかには帰宅方向が同じの、見ず知らずの方と励まし合いながら、数時間かけて立川まで歩いた方もいました。地震発生が金曜日の業務中だったため、障害のある方を無事帰宅させるために、ご苦労された会社も多くありました。

それ以降、交通機関の運休やダイヤの乱れがしばらく続きましたが、殆どの方が運行状況を確認し、可能な範囲で出勤を続けることができました。当初は自宅待機の方もいましたが、4月からは全員が業務に復帰することができました。

この機会を教訓に、震災時の家族との連絡方法、集合場所、職場からの帰宅方法などを話し合ったという方も大勢います。また、複数の通勤方法について検討や練習をしたり、歩いて帰る際の道を確認したという方もいます。震災という困難を経験して、ご本人たちのたくましさや成長ぶりに驚くとともに、多少のことがあっても乗り越える力が備わっていることを心強く感じました。これから夏場に向けて輪番節電などの対応で勤務への影響が考えられます。土日出勤など出勤日が変更になる事業所もありま



ですが、そういったことにも、<sup>じゅうぶんたいおう</sup>充分対応していけると<sup>おも</sup>います。

当センターとしても、日ごろから登録者の直近の勤務状況や連絡先などの把握・更新などをこまめに  
行ない、どんな状況になったとしても支援できる備えをしていきたいと思ひます。(白部 貴子)

## 自立生活部

## 2010年度事業報告

\* 既刊の通信でご紹介出来なかったプログラムについて、詳細をご報告します。

### 目的別プログラム、事業

#### 介助ILプログラム

【第1回4/21 参加者6名、第2回9/29 参加者6名、第3回2/18 参加者4名】

介助を受けながら「自分らしい生活」を作るため、介助を受ける仲間の気持ちの聞き合いや、具体的な介助者とのコミュニケーションの仕方、様々な場面でおこる介助関係での悩みをみんなで考えていくプログラムを開催しました。毎回好評のため、今年度も引き続き開催します。

#### 女性また男性の障害のある仲間に向けたプログラム

女性版 バレンタインをテーマに調理ILプログラムとして開催しました。【2/4 参加者5名】

男性版 スキンケアをテーマに健康ILプログラムとして開催しました。【3/9 参加者4名】

#### その他プログラム

外出ILプログラム 【9/17 参加者7名】

水上バスへの乗船を目的とし、事前に出発地から乗船場所までのルート・時間・料金を確認・検討する場を設けました。

新協力員にむけた研修 【5/14 参加者3名】

出前講座のスキルを上げる為の研修 【5/28 参加者10名】

協力員会議 【6/11 参加者11名】

CIL立川の活動に協力して下さる障害者の協力員の皆さんに向けたプログラムを開催しました。

### 年間を通してのプログラム、事業

#### ランチタイム

気軽に立ち寄れる場として月に1回、開催しています。自立生活部の障害者職員が毎月マスターとなり、ランチを食べつつ障害のある仲間達とお話しをする時間です。

恒例となり、毎月楽しみに来て下さる方々も増えてきています。

#### その他プログラム

出前講座 【年間62件】

市内小・中・高校、近隣大学、公的機関に協力員と出向き、障害者の生活・思いを知ってもらうために、交流ゲームや車いす体験などの活動を行なっています。

おすすめスポットの取材 【年間5ヶ所】

テーマを決め、協力員が中心となり、障害のある仲間たちにおすすしたい場を取材・編集し、ホームページにて紹介しています。(鈴木 徳子)

#### 知的事業

2010年度も引き続き、本事業に協力して頂いている、知的障害当事者の内山さん・泉口さんによるプログラムの実施、取材を精力的に行ないました。

お出かけプログラム“みんなでなかよくでかけよう～神代植物公園・深大寺～”【5 / 27 参加者1名】

新しい発見をしたり、活動の幅を広げてもらうことを目的として行ないました。

参加者の声：「楽しかった」「他の場所にも行ってみたい」



交流会“うちちとゆかいななかまたち”【8 / 27 参加者5名】

餃子を作り、ダンスなどを通して、今まで内山さんのプログラムに参加してくれた方同士の交流を深める目的で行ないました。餃子は簡単に楽しく作れるよう、100円ショップで売っている簡単に具を包める道具を使用しました。

参加者の声：「餃子作りが初めてで不安だったけど、教えてもらったらおいしくできてよかった」

“ストレス発散プログラム”【11 / 6・20 参加者9名】

ストレスについて話し合いました。多くの参加者が、親や作業所の職員など、日常的に関わる人とのやり取りの中でストレスを感じていました。解消方法の実践のために行ったカラオケで発散したあとは、皆スッキリした顔をしていました。

参加者の声：「みんな同じようなことでイライラしていることがわかった」「気持ちを話せる仲間は大切」「一人ではイライラの解決方法がわからないけど、誰かに聞いてもらえることで半分になる」「残り半分为どうするか、みんな意見を出し合って、見つけられたらいい」

おかし作りプログラム“クッキングうちち”【2 / 26 参加者5名】

おかし作りのハードルを下げ、今後の生活に活かしてもらうことを目的として行ないました。より簡単にできるよう炊飯器とホットプレートを使って作るレシピを取り入れ、ホットケーキミックスを使った3種類のおかしを作りました。

参加者の声：「知らないことを知れてよかった」「簡単にできて楽しかった」「家でも作ってみたい」

“うちち散歩”【6 / 18 11 / 26実施】

街の中で不思議に思うことや気になること、分からないことについて調べています。～立川市役所新庁舎編～では、市役所に勤めている人と、市役所内の知的障害のある方が働く、喫茶“はぁもにい”へのインタビュー、～立川市障害者週間編～では、統合失調症の幻聴幻覚体験をして思ったこと、展示してある福祉機器を実際に使用してみて感じたことなどを、それぞれ記事にまとめました。

今後も引き続き、当事者の声を尊重し、知的障害のある方が地域でより良い生活を実現できるよう取り組んでいきます。  
(栗田 衣里菜)

「東北地方太平洋沖地震 障害者救援募金」の協力を街頭にて呼びかけました！

3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震の影響で、生活が困難になっている障害の仲間を救援するための募金活動を、4月2日、3日、10日、13日の4日間に渡って立川駅北口の街頭にて行ないました。



CIL立川の職員や利用者の方を中心に、総勢25名で力を合わせ募金の協力を呼びかけました。寄付してくださった方の中には、応援の声をかけてくれた方や、子どもからも温かい気持ちをいただきました。

募金の総額は144,156円となりました。皆様からいただいた募金は全額「東北関東大震災障害者救援プロジェクト」に送金させていただきました。これから

も生活困難な仲間を支えていくために、協力できることを団体として取り組んでいきたいと思ひます。

(大石幸治)

私たちの動き (2/1 ~ 5/31)  
( )は担当部門名 C I L ・ H L ・ 就労 ・ パテ

### 【イベント・行事の実施】

( C I L )

- ・ 出前講座 (上砂川小, 松中小, 二小, 九小)
- ・ 内部研修 (2/18)
- ・ ランチタイム (2/16, 4/13, 5/13)
- ・ 知的プログラム (2/26)
- ・ 男性 I L P (3/9)
- ・ 東北関東大震災募金活動 (4/2, 3, 10, 13)
- ・ 春の楽市 (4/24)
- ・ 介助 I L P (5/13)
- ・ 協力員新人研修プログラム (5/24)
- ・ 出前協力員スキルアップ研修 (5/27)
- ・ 医療 I L P (5/31)

( 就労 )

- ・ 茶話会 (3/5)

( パティオ )

- ・ 懇談会 (2/9)

### 【連絡会・委員会・連携業務】

( C I L )

- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会 (2/4, 4/26)
- ・ 立川市障害者施策推進委員会 (2/22, 5/26)
- ・ 立川市災害ボランティアネットワーク (2/23, 4/28)
- ・ 緊急通報システム協力員連絡会 (3/10)
- ・ 多摩療護園わぐスパーソ (4/21, 5/19)
- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会  
地区別懇談会 (4/27)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (5/23)

( H L )

- ・ 立川市自立支援協議会生活専門部会 (2/24)
- ・ 立川市人権映画会実行委員会 (3/8, 4/19)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (5/23)

( 就労 )

- ・ 都意見交換会 (2/2)
- ・ 多摩ブロック会 (2/8)
- ・ 多摩就労支援事業委託団体連絡会 (4/22)
- ・ 立川市自立支援協議会就労専門部会 (3/1)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (5/23)

( パティオ )

- ・ 立川市精神保健業務連絡会 (2/15, 4/19, 5/17)
- ・ 北多摩西部保健医療圏地域精神保健福祉連絡協議会



(2/21)

- ・立川市自立支援協議会精神専門部会(2/25,5/18)
- ・立川市退院支援会議(3/10,5/12)
- ・立川市地域活動支援センター連絡協議会(4/15)
- ・立川市グループホーム連絡協議会(4/21)
- ・立川市デイサービス運営委員会(4/27)
- ・たちせいれん(4/28)
- ・立川市自立支援協議会全体会(5/23)
- ・りらく定例会(2/17,4/21,5/19)

### 【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・T I L 全体会(2/2,3/4)
- ・J I L 全国セミナー(2/14,15)
- ・交通行動シンポジウム(2/27)
- ・エド・ロバーツとI L 運動の発展(3/4)
- ・障害者権利条約と  
日本の障害者差別禁止法制定に向けて(3/9)
- ・西武立川駅セレモニー(3/29)
- ・立川市肢体不自由児・者父母の会たつのご総会(5/16)
- ・立川市手をつなぐ親の会総会(5/19)

(就労)

- ・全重協東京支部オープン会議(2/8)
- ・八王子ふらん研修(2/22)

### 【外部からの見学・研修・イベント】

(H L)

- ・実習生(あきる野学園 1名)

### 【講師派遣】

(C I L)

- ・東京都相談支援従事者現任研修(2/7,8)

(H L)

- ・立川市障害福祉課新任職員研修(5/19)
- ・昭和記念公園職員研修(2/21,25)

(就労)

- ・立川市障害福祉課新任職員研修(5/19)
- ・昭和記念公園職員研修(2/21,25)

(パティオ)

- ・立川市障害福祉課新任職員研修(5/19)

### ご寄付等、ありがとうございました

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| ・ 黛 正 様                 | ・ 栗原 麻衣 様 |
| ・ 杉本 靖雄 様               | ・ 鈴木 正子 様 |
| ・ 福田 勝 様                | ・ 原 敏起 様  |
| ・ 出浦 洋州 様               | ・ 井上 芳子 様 |
| ・ 匿名 2 名                |           |
| ・ 日本キリスト教団 国分寺教会 様(順不同) |           |

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川

〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-10-16 材ノビル 2F

TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3